

科目名	医薬品開発・一般薬特論	選択	1単位
-----	-------------	----	-----

◎責任教員

担当教員	◎教授 坂本 謙司 教授 下平 秀夫						
------	-----------------------	--	--	--	--	--	--

開講年度	2021年度	配当年次	1～4年	配当学期	後期	授業方法	講義
------	--------	------	------	------	----	------	----

授業の概要	医薬品開発（新薬の創製）に関する最先端の知識、新薬と一般薬（OTC医薬品）の薬理学的特徴と使用上の注意などを学ぶ。さらに、薬局における一般薬の取扱いについて理解を深め、セルフメディケーションの実践を適確にサポートできるようになることを目指す。
-------	---

授業の到達目標	新薬や一般薬に関する的確な情報提供を通して患者・来局者の薬物治療や健康維持に貢献するために、医薬品開発の現状と展望、新薬の薬理学的特徴と使用上の注意、一般用医薬品の適正な取扱いとセルフメディケーションの実践に関する最新の知識を修得する。
---------	--

授業計画	回数	担当者	行動目標
	1	坂本 謙司 教授	新薬の開発状況について概説できる。
	2	坂本 謙司 教授	最近の新薬を例示し、その薬理学的特徴と使用上の注意点について説明できる。
	3	坂本 謙司 教授	最近の新薬を例示し、その薬理学的特徴と使用上の注意点について説明できる。
	4	坂本 謙司 教授	新薬開発の現状と展望について討議する。
	5	下平 秀夫 教授	社会保障と医療費の動向について、一般用医薬品に関連づけて説明できる。
	6	下平 秀夫 教授	社会と地域薬局との関わりについて説明できる。
	7	下平 秀夫 教授	セルフメディケーションの実践における薬剤師の役割を説明できる。
	8	下平 秀夫 教授	最近の医療記事について討議・発表する。

事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	課題に関する配布資料等に十分目を通したうえで授業に出席すること。当該期間に30時間程度の予習と復習が必要となる。
----------------------	--

教科書	なし
-----	----

参考書	新薬展望（最新版）：医薬ジャーナル社
-----	--------------------

成績評価の方法および基準	課題に関するプロダクト（レポート等）70%、能動的学習態度（討議および発表）30%、1回欠席につき5点減点する。
--------------	--

その他履修上の注意事項	日常生活において、医療に関する社会的な話題に常に興味を持つように心がけることが望ましい。課題に関するプロダクトについて、授業の中で解説等のフィードバックを行う。この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。
-------------	--